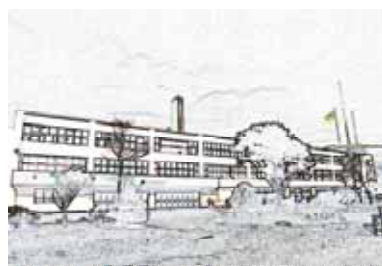
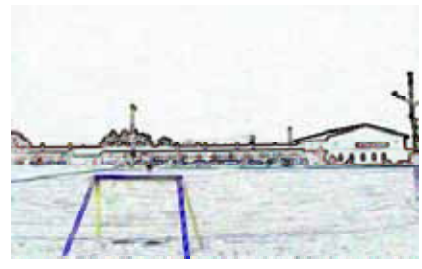
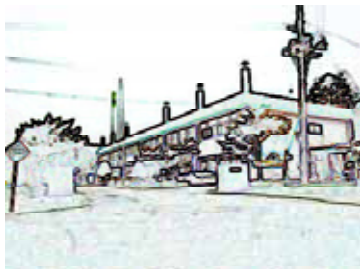




厚岸町立学校適正配置計画



平成19年9月

厚岸町教育委員会

目 次

1	はじめに	1
2	計画の基本的な考え方	1
	(1) 厚岸町立学校の現状と課題	
	(2) 学校の小規模化に係る問題点	
	(3) 教育効果からの基本的な学校規模	
	(4) 学校施設整備からの配置計画	
3	適正配置計画の具体的内容	7
	(1) 適正配置計画	
	(2) 統合校の通学対策	
4	今後の取り進め方について	9
5	おわりに	9
	別紙適正配置計画表	11

1 はじめに

全国的な人口減少や少子高齢化から、学校における児童生徒数の減少が進み小規模化も進んでいます。このことは、厚岸町においても顕著に現れており、深刻な問題として検討を迫られています。

学校教育は集団で行うことを基本としており、学校全体あるいは1学年の児童生徒数や学級数が減少していくことにより、児童生徒の教育条件、教育環境、学校運営等に様々な問題が生じています。

児童生徒の健やかな成長を促すためには、一定規模以上の学校で教育が行われることが望ましく、そのためには各学校が適正に配置されることが必要です。

厚岸町教育委員会では、平成15年から地域における学校のあり方等について、関係地域から意見を聴取してきましたが、この度、次代を担う児童生徒により良い教育条件、教育環境を提供するため、厚岸町の児童生徒数等の将来推計と学校施設の状況を見据えながら、小・中学校の適正規模、適正配置の基本的な考え方を整理し、厚岸町立小・中学校の適正配置計画を策定します。

2 計画の基本的な考え方

(1) 厚岸町立学校の現状と課題

厚岸町における人口の推移(資料1)を見ると、平成4年から平成19年までの15年間で、2,443人(18パーセント)減少しています。このうち、0才から14才までの人口が46パーセント減少しているのに対し、65歳以上の人口は66パーセント増加しており、少子高齢化が顕著に現れています。

特に、少子化については、児童数(資料2)、生徒数(資料3)及び学級数においても明らかです。

また、学校教育が今大きな変革を迎え、学習指導要領などによる様々な教育課題への対応が求められている中、豊かな人間性や社会性を培うためには、一定以

上の学校規模が望まれることから、将来を展望し、『子どもたちにとって』の教育効果を基本とした検討が必要となっています。

一方、厚岸町における学校施設の状況及び今後の施設整備の見通しから考察した教育環境の面での検討も必要となっています。

これらのことから、厚岸町として、この二つの課題からみた『学校適正配置計画』を策定することが急務であると考えます。

(2) 学校の小規模化に係る問題点

学校の小規模化に係る問題点について、次のとおり整理します。

ア 児童生徒の指導上の問題点

(ア) 集団規模が小さいため、社会性を培うことが難しい。

(イ) 学校行事（運動会や学芸会等）における集団活動の活性化が難しい。

(ウ) クラブ活動や部活動が制限される。

(エ) 人間関係が固定化されることにより、多様なものの見方、考え方を学んだり、新しい人間関係等を創り上げる機会が少なくなる。

(オ) 話し合いの場やグループ活動などでは、学級人数が少ないため、意見の多様性に乏しく、学習内容の深まりや広がりには欠けることがある。

(カ) サッカー、バレーボール等体育での球技や、音楽での合唱、合奏など、学習が不十分になる場合がある。

イ 学校運営上の問題点

(ア) 教員の配置が不十分になり、教科担任制である中学校において、教員が専門外の教科を担当することが多くなる。

(イ) 1学年1学級の場合は、学年を一人の教員が担当することになり、教材研究、共同研究等が難しく、教員相互の連携や切磋琢磨する機会が少なくなる。

(ウ) 学校には、規模の大小にかかわらず取り組むべき校務があるため、教職員の負担が増加する。

(3) 教育効果からの基本的な学校規模

学習指導要領においては、『生きる力』の育成を基本的ねらいとして、豊かな人間性や社会性、さらには国際社会をも視野に入れた教育をめざすこととしています。

しかし、少子化に加え、家庭や地域における子どもたちの生活様式の変化などにより、『児童生徒の社会性の低下』が指摘されており、学校教育においては、集団の持つ教育力を活かし、自主性、主体性、社会性、協調性を育むことがますます重要となってきました。そのための教育を効果的に展開するには、前述の問題点でも挙げているとおり、教科学習はもちろん、運動会、文化祭等の学校行事や部活動においても一定規模の集団を確保することが必要となります。

また、児童生徒数の減少が学級数さらには教職員数の減少となり、多様な学習や活動メニューを提供できなくなるばかりか、中学校における現状のしくみでは、学級数に応じて教員数が決められることから、特に授業時数の多い5教科の教員配置においても、望ましい教育環境が維持できない状況となります。これらのことから、児童生徒の学習や生活の場として望ましい基本的な学校規模を次のとおり設定します。

【厚岸町における基本的な学校規模】

学校規模については、学校教育法施行規則第17条において、「小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。」とあり、中学校についても同規則第55条において小学校の規定を準用するとされています。

また、義務教育諸学校施設費国庫負担法施行令第4条で、これを「適正な規模」としています。

しかし、厚岸町のような地域事情ではこの規模を「適正な規模」として学校の配置計画を策定するのは難しいと考えています。

また、少人数教育については、一人一人に応じた指導の充実や地域、家庭、地域社会との緊密な連携が図りやすく、学校経営においても教職員の共通理解が図りやすく協力的指導体制が組みやすいなどの利点があり、町内においては現在もその利点を生かした学校経営を進めています。

これらを総合的に勘案し、厚岸町としての基本的な適正規模（最低限度の規模）を次のように定め適正配置計画を策定します。

区 分	児童生徒数	学 級 数	設 定 理 由
小学校	全児童数12名以上	3学級以上	・教頭配置を含む一定の教員数の確保が可能である。(資料5) ・養護教諭の配置が可能(11名以上)である。(資料5)
中学校	全生徒数6名以上	2学級以上	・授業時数の多い5教科の教員の確保が可能である。

(4) 学校施設整備からの配置計画

学校施設は、多くの児童生徒等が一日の大半を過ごす学習、生活の場であることから、安全で快適な環境を確保することが必要不可欠です。また、地域住民にとって最も身近な公共施設であり、児童生徒のみならず地域住民の学習や交流の場として、さらには地震等の災害発生時の応急的な避難場所としての役割も果たすことから、それらの機能や十分な耐震性を確保できる施設整備が求められています。

地震発生時における児童生徒等の人的被害を防止するためには、耐震化優先度調査及びそれに基づく耐震診断^{注1}又は耐力度調査^{注2}を早急^{注1}に実施し、危険度の大きいものから優先的に改築や耐震補強等の耐震化事業を実施しなければなりません。これら耐震化事業の推進計画の策定に当たるとともに、施設状況や地域の実情、さらにはまちづくりにも配慮するなど、総合的に検討する中で学校施設整備の計画を策定しなければなりません。しかし、地方財政をめぐる状況は、一層厳しさを増していることから、さらなる財政改革を進めなければならない現状です。

このような状況下における学校施設の老朽化への対応及び耐震化推進計画の策定に当たっては、今回示す一定の学校規模以上であっても、多額の事業費を要する施設整備は困難な状況です。したがって、厚岸町における学校施設整備においては、学校の統廃合も含めた適正配置を検討することとします。

注1【耐震診断】

建物の保有する耐震性能(地震に対してどの程度耐え得る力(強度と粘り強さ)を有しているか)を各階別、各方向別に数値(Is)で評価すること。

注2【耐力度調査】(耐力度測定方法)

構造上危険な状態にある建物の危険な状態の度合いを耐力度で表す。(高いほど危

険性がない。10,000点満点 5,000点以下危険改築可)

【耐震診断と耐力度調査との関係】

- 1 耐震診断の目的は安全性の発見、耐力度測定の場合は危険性の発見

【耐震化推進計画】

耐震診断.....耐震化優先度調査・耐震診断・耐力度調査
耐震化事業.....危険改築・耐震補強・大規模改修等の事業

- 1 基本調査の実施
施設実態調査、設計図書等の確認、避難施設の指定状況の確認、活断層や海溝型地震等に関する資料収集、統廃合計画等の把握
- 2 耐震化優先度調査の実施（新耐震基準^{注3}（昭和56年6月1日施行）以前の建物）
 - (1) 甚大な被害が予想される学校把握
 - (2) 耐震診断又は耐力度調査の優先度の決定
- 3 耐震診断又は耐力度調査の実施
- 4 事業手法（耐震補強又は改築）及び緊急度の決定
 - (1) 甚大な被害が予想される学校を優先
 - (2) 学校施設の質的向上のため諸課題と一体的に推進
- 5 年次計画の策定
- 6 耐震化事業の実施

注3【新耐震基準】

建築物を設計・建設するときに地震で倒壊しないようにするための構造上の基準。建築基準法では「現行の耐震基準は概ね妥当である」との調査結果を示しており、この基準では大規模な倒壊はしないという基準として規定されている。この基準は、マグニチュード7.4を記録し、28人の犠牲者を出した昭和53年発生の中越沖地震の被害を受けて、昭和56年に強化された基準をいう。

【学校耐震化優先度調査】

優先順位	学校名	建物区分	階数	建築年度	面積	優先度ランク	備考
1	真龍中学校	校舎	4	昭和43年	2,428㎡	-	
			1		129	-	
			1		129		
2	真龍中学校	屋内運動場	2	昭和43年	769		
3	厚静小学校	校舎	2	昭和45年	323	-	
4	厚岸中学校	校舎	4	昭和50年	5,028	-	
	尾幌小学校	校舎	2	昭和48年	545	-	

5	尾幌中学校	校舎	2	昭和49年	650	-	
			2	昭和47年	819		
			1	昭和48年	323		
6	厚静小学校	屋内運動場	1	昭和46年	387		
			1		11		
7	尾幌小中学校	屋内運動場	2	昭和52年	786		
8	厚岸中学校	屋内運動場	2	昭和51年	27		
			2		94		
			2		527		
9	上尾幌中学校	校舎	2	昭和53年	1,373	-	
10	上尾幌中学校	屋内運動場	1	昭和54年	40		
			1		732		
11	真龍中学校	校舎	1	昭和47年	259	-	
			1	昭和48年	259		
12	太田中学校	校舎	2	昭和56年	1,584	-	

備考 「優先度ランク」は、資料6を参照すること。

【耐震に対する考え方】

町立学校13校中9校は、新耐震基準施行以前に建築された建物で、老朽化が進み、その安全性の確保が急がれています。

今回実施した優先度調査の結果を踏まえ、耐震診断を実施する必要があります。基本的には優先度ランク順となりますが、学校の形態や過去の地震被害状況等を勘案し、学校単位での耐震化事業の計画策定とします。

また、優先度調査とは別に昭和56年以前の鉄筋コンクリート造の校舎のうち、真龍中学校を除く尾幌小中学校、厚静小学校、厚岸中学校、上尾幌中学校及び太

田中学校について耐震診断における^{注4}第1次診断を実施しました。この結果、上尾幌中学校及び太田中学校を除く3校について、^{注5}第2次診断以上の耐震診断及び耐震化事業が必要となります。さらに、厚静小学校、厚岸中学校、真龍中学校、上尾幌中学校及び尾幌中学校の屋内運動場並びに片無去小学校及び真龍中学校の校舎についても、耐震診断及び耐震化事業が必要です。

注4【第1次診断】

柱の太さと本数、壁の厚さと長さ、建物の構造規模、年数、地盤のデータにより耐震性を推定する

注5【第2次診断】

柱、壁、コンクリート強度、鉄筋量から建物の強さと粘りを推定する方法で、梁の耐力が十分と仮定し、柱、壁から強度指数を計算し耐震性能を求める。

現地調査（亀裂の把握・コアサンプル採取し、強度試験及び中性化の状況）

3 適正配置計画の具体的内容

教育効果の面での厚岸町における適正規模の検討と学校施設整備の両面から検討した結果、次のとおり適正配置計画を策定します。

(1) 適正配置計画

ア 厚岸小学校、真龍小学校、太田小学校、床潭小学校及び太田中学校については、現状維持とします。

イ 厚岸中学校及び真龍中学校については、学校配置の面では現状維持としますが、施設面では耐震化事業が必要であり、耐震診断を行った後、耐震補強の計画を策定します。

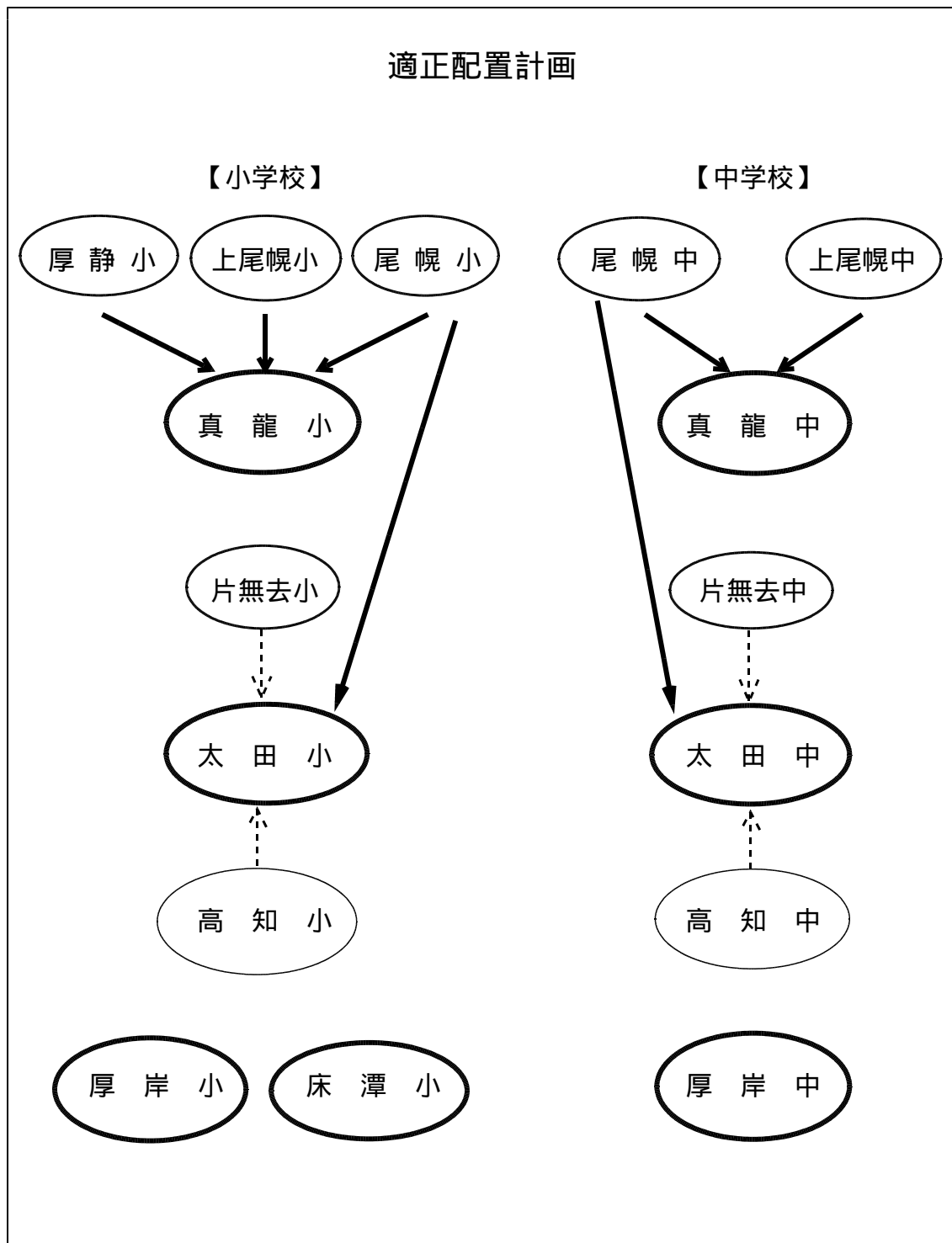
ウ 上尾幌小学校及び上尾幌中学校については、小学校が平成20年度、中学校が平成23年度に在校生がいなくなることから、平成21年4月を目処に真龍小学校及び真龍中学校への統合を進めます。

エ 尾幌小学校、厚静小学校及び尾幌中学校については、厚岸町における基本的な学校規模が維持できなくなっていることや、施設面で老朽化が著しく進行し、耐震化についても急がれる状況にあることから、大規模改修又は改築が必要です。しかし、近年の厳しい財政状況から、その施設整備は困難であり、**厚静小学校**においては、平成20年4月を目処に真龍小学校への統合、**尾幌小中学校**については、平成21年4月を目処に真龍小学校及び真龍中学校あるいは、太田小学校及び太田中学校への統合を進めます。

オ 高知小学校及び高知中学校については、学校規模の状況から統合が必要と考えますが、当面施設面での整備が必要でないことや地理的条件による通学時間等の問題もあり、当分は統合年度を示さず継続的に協議を進めます。

カ 片無去小学校及び片無去中学校については、学校規模の状況から統合が必要とありますが、施設面で耐震化を含む整備についての優先度が低いことから、当分は統合年度を示さず継続的に協議を進めます。

キ 現在休校中の糸魚沢小学校については、平成21年4月を目処に廃校とすべく地域との協議を進めます。



(2) 統合校の通学対策

本計画により統合される学校が指定学校となっている児童生徒の通学については、原則としてスクールバスによる送迎を行います。

なお、スクールバスの運行については、登校時1回、下校時2～3回程度を基本とします。

4 今後の取り進め方について

今後は、次のスケジュールにより執り進めることとします。

平成19年 5月 計画案の策定

平成19年 6月 計画案の周知、公表（議会行政報告）

平成19年 9月 計画決定、 学校設置条例の改正

5 おわりに

児童生徒に対しより良い教育条件、教育環境を提供していくことを念頭に、厚岸町立小・中学校の児童生徒数、学級数等の将来推計を行い、基本的な学校規模を定め、適正配置計画を策定しました。

学校の適正配置は、極めて難しい問題であり、賛否両論のあるところですが、義務教育においては、児童生徒一人ひとりに対する教育の内容や水準に学校ごとの格差があってよいはずはなく、教育の施設整備、学校規模、教職員配置数等の教育条件、教育環境について、十分な配慮がされるべきであると考えます。

しかし、各学校には、それぞれの歴史とともに地域社会との深い結びつきを持ち、まちづくりや防災の拠点としての機能を併せ持っており、これを踏まえ、保護者、

地域住民の意見を尊重し、学校、地域、行政が連携しながら進めていく必要があります。また、児童生徒の不安や動揺を最小限に押さえる工夫も必要と考えます。このために、関係者の理解を得ていくことが不可欠であると考えます。

したがって、今後、適正配置を進めるに当たっては、町全体の適正配置計画を持つとともに、個々の事例ごとに具体的な方策を検討し、統合方法、スクールバス等の通学手段、校舎等の跡利用等について、保護者、地域住民等と十分に協議を行い、理解と協力を得て進めていくこととします。

また、この計画については、社会経済情勢、学級編制基準の見直し等の教育制度改革、保護者、地域住民のニーズ等を踏まえながら、必要に応じて見直すこととします。

厚岸町立学校適正配置計画

資料編

資料1 - 1	厚岸町の人口推移（表）	1
資料1 - 2	厚岸町の人口の推移（グラフ）	2
資料2 - 1	児童数の推移（表）	3
資料2 - 2	厚岸小学校・真龍小学校・上尾幌小学校の児童数の推移（グラフ）	4
資料2 - 3	尾幌小学校・太田小学校・床潭小学校・厚静小学校・高知小学校 ・片無去小学校等の児童数の推移（グラフ）	5
資料3 - 1	生徒数の推移（表）	6
資料3 - 2	厚岸中学校・真龍中学校・上尾幌中学校の生徒数の推移（グラフ）	7
資料3 - 3	尾幌中学校・太田中学校・高知中学校・片無去中学校の生徒数の 推移（グラフ）	8
資料4	厚岸町立学校児童数・生徒数・学級数の推移	9
資料5	教職員定数配置基準	13
資料6	耐震化優先度調査の評価方法	14
資料7	厚岸町学校施設の状況	16

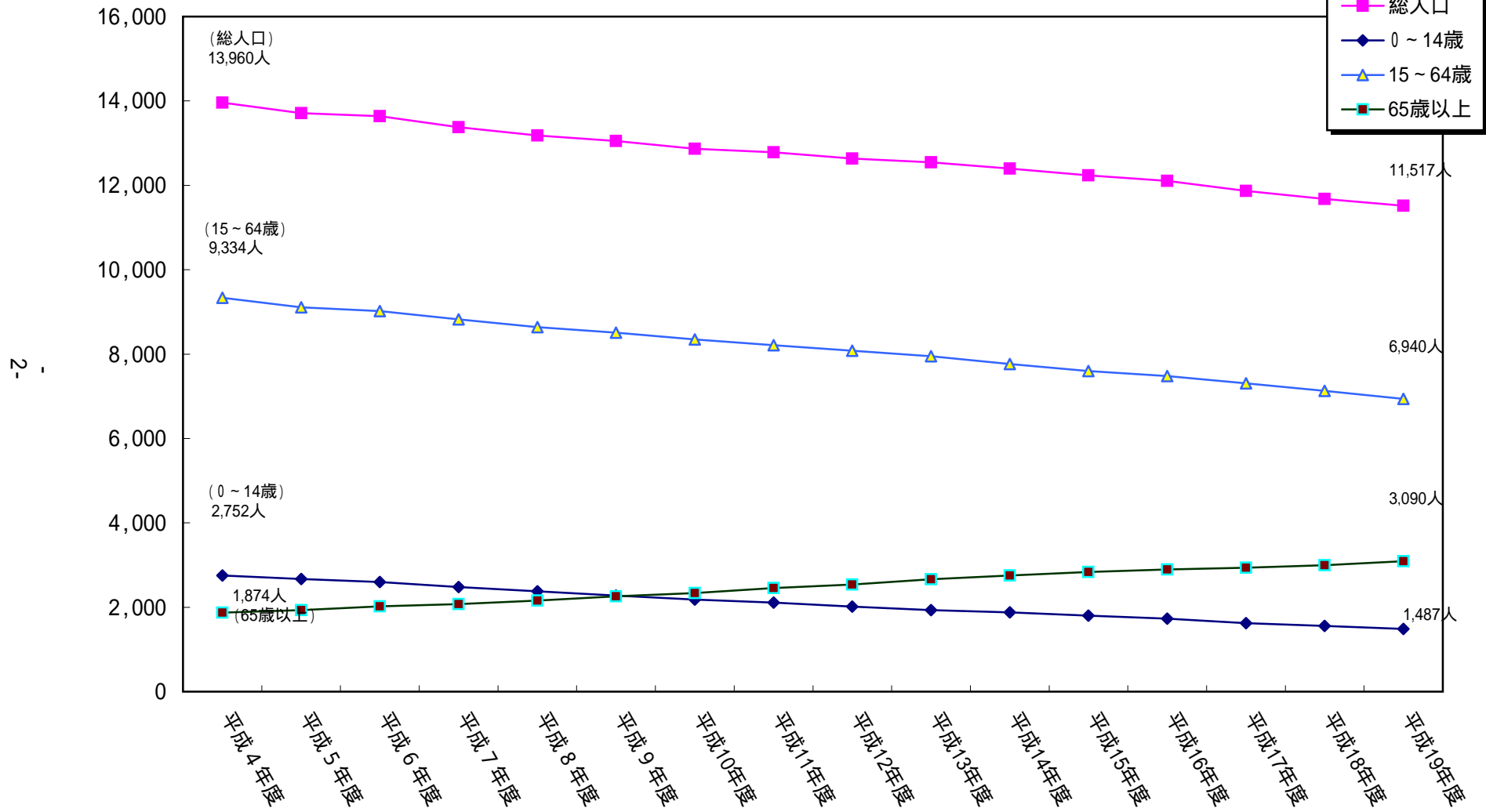
厚岸町の人口推移

年度	総人口	年齢別人口			前年度対比			
		0～14歳	15～64歳	65歳以上	総人口	0～14歳	15～64歳	65歳以上
平成4年度	13,960	2,752	9,334	1,874	-	-	-	-
平成5年度	13,712	2,670	9,108	1,934	248	82	226	60
平成6年度	13,638	2,597	9,022	2,019	74	73	86	85
平成7年度	13,375	2,477	8,821	2,077	263	120	201	58
平成8年度	13,181	2,381	8,639	2,161	194	96	182	84
平成9年度	13,049	2,279	8,511	2,259	132	102	128	98
平成10年度	12,869	2,185	8,347	2,337	180	94	164	78
平成11年度	12,782	2,113	8,214	2,455	87	72	133	118
平成12年度	12,632	2,013	8,078	2,541	150	100	136	86
平成13年度	12,548	1,935	7,950	2,663	84	78	128	122
平成14年度	12,395	1,876	7,764	2,755	153	59	186	92
平成15年度	12,234	1,800	7,596	2,838	161	76	168	83
平成16年度	12,103	1,730	7,479	2,894	131	70	117	56
平成17年度	11,870	1,624	7,307	2,939	233	106	172	45
平成18年度	11,679	1,556	7,129	2,994	191	68	178	55
平成19年度	11,517	1,487	6,940	3,090	162	69	189	96

平成19年度 - 4年度	2,443	1,265	2,394	1,216
比率	-18%	-46%	-26%	65%

備考 調査日は、各年度の3月31日現在であること。

厚岸町の人口推移

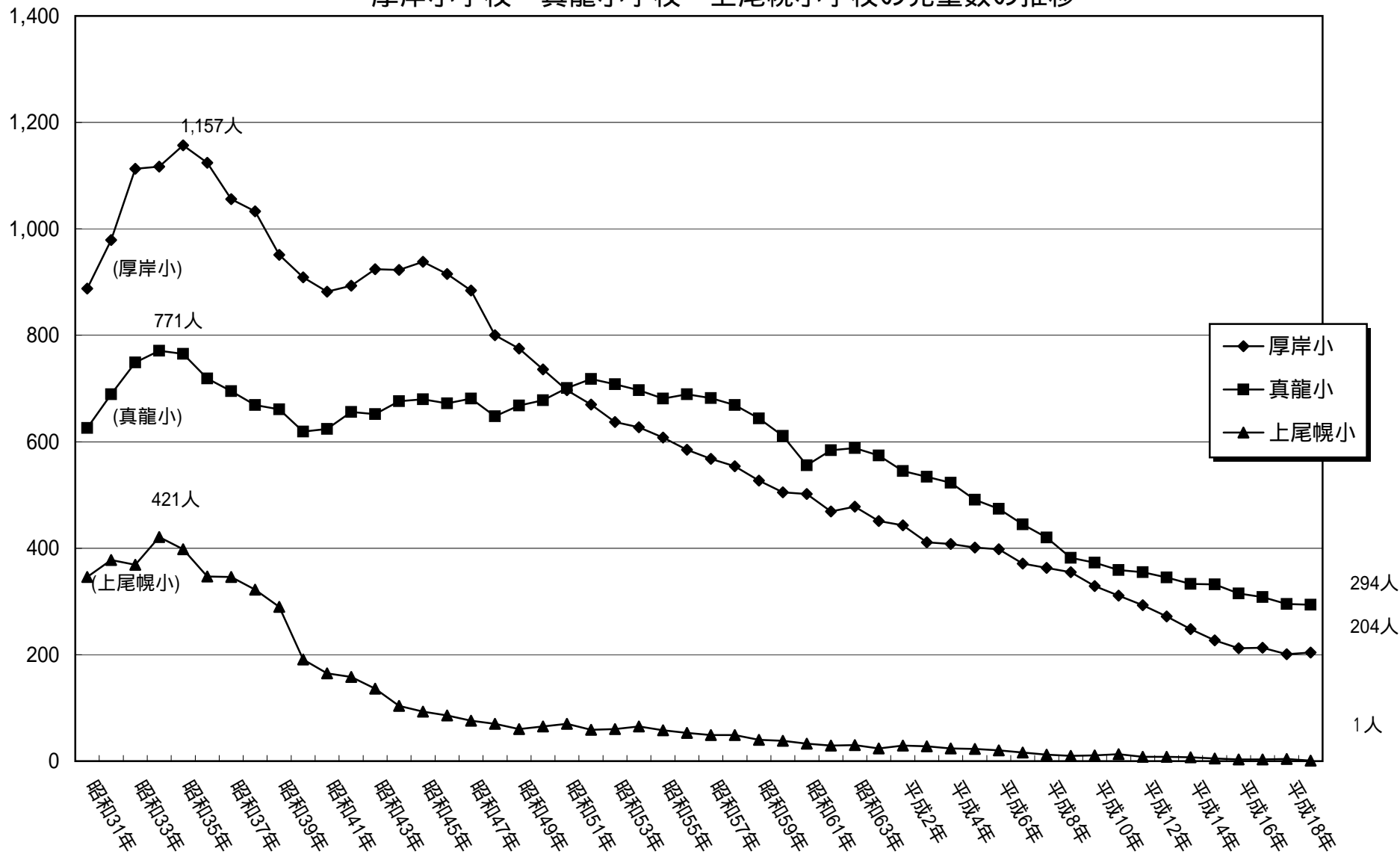


児童数の推移

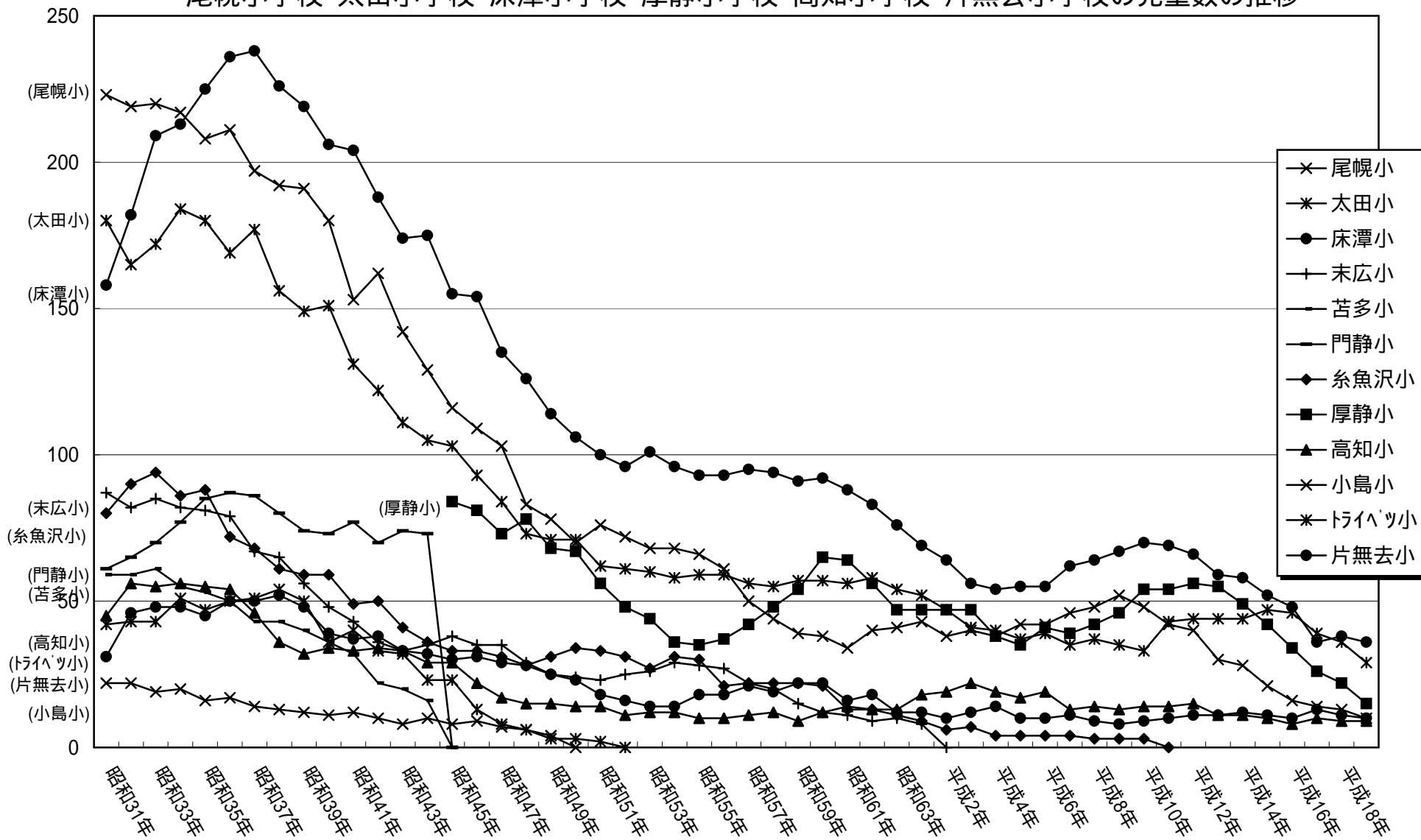
	厚岸小	真龍小	上尾幌小	尾幌小	太田小	床潭小	未広小	苫多小	門静小	糸魚沢小	厚静小	高知小	小島小	トイハツ小	片無去小	計
昭和31年	888	626	346	223	180	158	87	59	61	80		45	22	42	31	2,848
昭和32年	979	689	378	219	165	182	82	59	65	90		56	22	43	46	3,075
昭和33年	1,113	749	369	220	172	209	85	61	70	94		55	19	43	48	3,307
昭和34年	1,117	771	421	217	184	213	82	55	77	86		56	20	51	48	3,398
昭和35年	1,157	765	398	208	180	225	81	53	85	88		55	16	47	45	3,403
昭和36年	1124	719	347	211	169	236	79	50	87	72		54	17	50	50	3,265
昭和37年	1056	695	346	197	177	238	67	43	86	68		46	14	51	50	3,134
昭和38年	1033	669	322	192	156	226	65	43	80	61		36	13	54	52	3,002
昭和39年	951	661	290	191	149	219	56	40	74	59		32	12	50	48	2,832
昭和40年	909	619	191	180	151	206	48	36	73	59		34	11	36	39	2,592
昭和41年	882	624	165	153	131	204	43	32	77	49		33	12	40	37	2,482
昭和42年	893	656	158	162	122	188	36	22	70	50		34	10	33	38	2,472
昭和43年	924	652	136	142	111	174	33	20	74	41		33	8	32	33	2,413
昭和44年	923	676	104	129	105	175	35	16	73	36		29	10	23	32	2,366
昭和45年	938	680	93	116	103	155	38	廃校	廃校	33	84	29	8	23	30	2,330
昭和46年	915	672	86	109	93	154	35			33	81	22	9	13	31	2,253
昭和47年	884	681	76	103	84	135	35			31	73	17	7	8	29	2,163
昭和48年	800	648	70	83	73	126	29			28	78	15	6	6	28	1,990
昭和49年	775	668	60	78	71	114	25			31	68	15	4	3	25	1,937
昭和50年	736	678	65	70	71	106	24			34	67	14	廃校	3	23	1,891
昭和51年	697	701	70	76	62	100	23			33	56	14		2	18	1,852
昭和52年	670	718	59	72	61	96	25			31	48	11		廃校	16	1,807
昭和53年	637	708	60	68	60	101	26			27	44	12			14	1,757
昭和54年	627	697	65	68	58	96	29			31	36	12			14	1,733
昭和55年	608	681	58	66	59	93	28			30	35	10			18	1,686
昭和56年	585	689	53	61	59	93	27			21	37	10			18	1,653
昭和57年	568	682	49	50	56	95	22			22	42	11			21	1,618
昭和58年	554	669	49	44	55	94	20			22	48	12			19	1,586
昭和59年	527	644	40	39	57	91	15			22	54	9			22	1,520
昭和60年	505	611	38	38	57	92	12			21	65	12			22	1,473
昭和61年	502	566	33	34	56	88	11			13	64	14			16	1,387
昭和62年	469	584	29	40	58	83	9			13	56	13			18	1,372
昭和63年	478	588	30	41	54	76	10			11	47	13			12	1,360
平成元年	451	574	24	43	52	69	8			9	47	18			12	1,307
平成2年	443	545	29	38	47	64	廃校			6	47	19			10	1,248
平成3年	411	534	28	40	41	56				7	47	22			12	1,198
平成4年	408	523	24	38	40	54				4	38	19			14	1,162
平成5年	401	491	23	42	37	55				4	35	17			10	1,115
平成6年	398	474	20	42	39	55				4	41	19			10	1,102
平成7年	371	445	16	46	35	62				4	39	13			11	1,042
平成8年	363	420	12	48	37	64				3	42	14			9	1,012
平成9年	355	382	10	52	35	67				3	46	13			8	971
平成10年	329	373	11	48	33	70				3	54	14			9	944
平成11年	311	359	13	42	43	69				休校	54	14			10	915
平成12年	293	355	8	40	44	66					56	15			11	888
平成13年	272	345	8	30	44	59					55	11			11	835
平成14年	248	333	7	28	44	58					49	11			12	790
平成15年	227	332	5	21	47	52					42	10			11	747
平成16年	212	315	3	16	46	48					34	8			10	692
平成17年	213	308	3	14	39	36					26	10			13	662
平成18年	201	295	4	13	36	38					22	9			11	629
平成19年	204	294	1	10	29	36					15	9			10	608

備考 調査日は、各年度の4月1日現在

厚岸小学校・真龍小学校・上尾幌小学校の児童数の推移



尾幌小学校・太田小学校・床潭小学校・厚静小学校・高知小学校・片無去小学校の児童数の推移

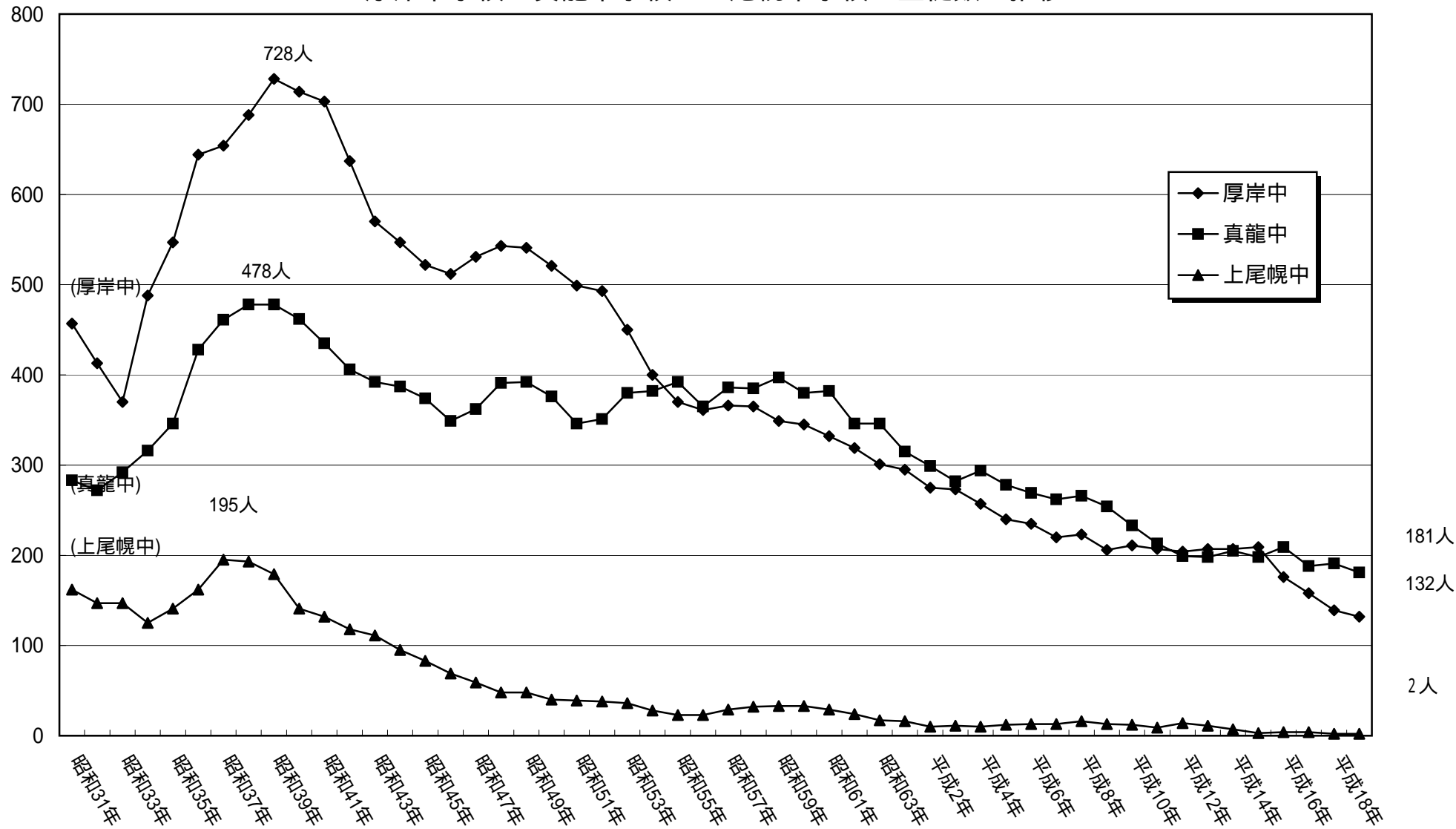


生徒数の推移

	厚岸中	真龍中	上尾幌中	尾幌中	太田中	床潭中	未広中	苫多中	門静中	糸魚沢中	高知中	小島中	トイハツ中	片無去中	計
昭和31年	457	283	162	101	99	84	58	30	21	34	18	6	15	27	1,395
昭和32年	413	272	147	94	80	67	54	33	16	25	18	8	12	22	1,261
昭和33年	370	292	147	87	85	63	52	25	廃校	25	17	8	14	19	1,204
昭和34年	488	316	125	86	80	廃校	廃校	廃校		23	15	10	14	10	1,167
昭和35年	547	346	141	93	80					27	21	10	20	16	1,301
昭和36年	644	428	162	99	82					25	24	11	22	16	1,513
昭和37年	654	461	195	113	89					23	27	10	25	15	1,612
昭和38年	688	478	193	112	90					9	25	9	21	16	1,641
昭和39年	728	478	179	114	83					廃校	22	8	16	18	1,646
昭和40年	714	462	141	104	84						19	8	20	21	1,573
昭和41年	703	435	132	99	70						18	6	13	23	1,499
昭和42年	637	406	118	89	79						21	8	11	24	1,393
昭和43年	570	392	111	81	72						23	5	10	22	1,286
昭和44年	547	387	95	75	66						16	7	18	21	1,232
昭和45年	522	374	83	82	61						12	3	17	20	1,174
昭和46年	512	349	69	77	62						18	3	18	16	1,124
昭和47年	531	362	59	72	57						18	2	14	15	1,130
昭和48年	543	391	48	74	51						13	3	12	17	1,152
昭和49年	541	392	48	66	45						9	2	10	16	1,129
昭和50年	521	376	40	52	39						9	廃校	3	15	1,055
昭和51年	499	346	39	36	41						8		2	13	984
昭和52年	493	351	38	31	39						10		廃校	15	977
昭和53年	450	380	36	36	35						8			14	959
昭和54年	400	382	28	36	30						9			9	894
昭和55年	370	392	23	36	27						8			8	864
昭和56年	361	365	23	26	27						8			7	817
昭和57年	366	386	29	38	30						5			8	862
昭和58年	365	385	32	35	30						4			9	860
昭和59年	349	397	33	37	31						3			8	858
昭和60年	345	380	33	38	30						4			7	837
昭和61年	332	382	29	27	30						6			10	816
昭和62年	319	346	24	24	27						6			10	756
昭和63年	301	346	17	22	26						6			14	732
平成元年	295	315	16	20	26						5			10	687
平成2年	275	299	10	21	30						4			12	651
平成3年	273	282	11	20	32						6			5	629
平成4年	257	294	10	17	31						8			4	621
平成5年	240	278	12	19	29						10			6	594
平成6年	235	269	13	23	23						6			7	576
平成7年	220	262	13	24	22						10			8	559
平成8年	223	266	16	22	21						10			6	564
平成9年	206	254	13	20	20						14			5	532
平成10年	211	233	12	18	21						12			5	512
平成11年	207	213	9	24	21						10			4	488
平成12年	204	199	14	23	20						7			6	473
平成13年	207	198	11	28	16						7			6	473
平成14年	207	205	7	24	15						6			5	469
平成15年	209	198	3	25	15						7			4	461
平成16年	176	209	4	17	18						7			2	433
平成17年	158	188	4	16	28						7			2	403
平成18年	139	191	2	12	28						5			4	381
平成19年	132	181	2	9	29						4			6	363

備考 調査日は、各年度の4月1日現在であること。

厚岸中学校・真龍中学校・上尾幌中学校の生徒数の推移



厚岸町立学校児童数・生徒数・学級数の推移

厚岸小学校

	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
平成18年度	32	1	44	2	28	1	35	1	31	1	32	1	202	7
平成19年度	31	1	31	1	42	2	28	1	33	1	30	1	195	7
平成20年度	20	1	31	1	31	1	42	2	28	1	33	1	185	7
平成21年度	32	1	20	1	31	1	31	1	42	2	28	1	184	7
平成22年度	22	1	32	1	20	1	31	1	31	1	42	2	178	7
平成23年度	26	1	22	1	32	1	20	1	31	1	31	1	162	6
平成24年度	31	1	26	1	22	1	32	1	20	1	31	1	162	6

真龍小学校

	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
平成18年度	43	2	43	2	49	2	55	2	52	2	55	2	297	12
平成19年度	55	2	43	2	42	2	49	2	54	2	51	2	294	12
平成20年度	37	1	55	2	43	2	42	2	49	2	54	2	280	11
平成21年度	45	2	37	1	55	2	43	2	42	2	49	2	271	11
平成22年度	66	2	45	2	37	1	55	2	43	2	42	2	288	11
平成23年度	42	2	66	2	45	2	37	1	55	2	43	2	288	11
平成24年度	39	1	42	2	66	2	45	2	37	1	55	2	284	10

上尾幌小学校

	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
平成18年度	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	5	2
平成19年度	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	3	2
平成20年度	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	2	1
平成21年度	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1
平成22年度	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	2
平成23年度	1	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	4	2
平成24年度	3	1	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	7	2

尾幌小学校

	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
平成18年度	2	1	4	0	2	1	0	0	3	0	2	1	13	3
平成19年度	2	1	2	0	4	1	2	0	0	0	3	1	13	3
平成20年度	1	1	2	0	2	1	4	0	2	1	0	0	11	3
平成21年度	2	1	1	0	2	1	2	0	4	1	2	0	13	3
平成22年度	2	1	2	0	1	1	2	0	2	1	4	0	13	3
平成23年度	1	1	2	0	2	1	1	0	2	1	2	0	10	3
平成24年度	4	1	1	0	2	1	2	0	1	1	2	0	12	3

太田小学校

	1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		5 学年		6 学年		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
平成18年度	3	1	8	1	5	0	8	1	4	0	8	1	36	4
平成19年度	1	1	3	0	8	1	5	1	7	0	4	1	28	4
平成20年度	4	1	1	0	3	1	8	0	5	1	7	0	28	3
平成21年度	3	1	4	0	1	1	3	0	8	1	5	0	24	3
平成22年度	5	1	3	0	4	1	1	0	3	1	8	0	24	3
平成23年度	1	1	5	0	3	1	4	0	1	1	3	0	17	3
平成24年度	1	1	1	0	5	1	3	0	4	1	1	0	15	3

床潭小学校

	1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		5 学年		6 学年		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
平成18年度	6	1	2	0	4	1	11	0	8	1	7	0	38	3
平成19年度	5	1	5	1	2	0	4	1	10	0	7	1	33	4
平成20年度	5	1	5	1	5	0	2	1	4	0	10	1	31	4
平成21年度	6	1	5	1	5	0	5	1	2	0	4	1	27	4
平成22年度	6	1	6	1	5	0	5	1	5	0	2	1	29	4
平成23年度	2	1	6	0	6	1	5	0	5	1	5	0	29	3
平成24年度	3	1	2	0	6	1	6	0	5	1	5	0	27	3

厚静小学校

	1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		5 学年		6 学年		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
平成18年度	4	1	0	0	2	0	6	1	4	0	6	1	22	3
平成19年度	0	0	3	1	0	0	2	0	6	1	4	0	15	2
平成20年度	3	1	0	0	3	0	0	0	2	1	6	0	14	2
平成21年度	2	1	3	0	0	0	3	1	0	0	2	0	10	2
平成22年度	3	1	2	0	3	1	0	0	3	0	0	0	11	2
平成23年度	1	1	3	0	2	1	3	0	0	0	3	1	12	3
平成24年度	6	1	1	0	3	1	2	0	3	1	0	0	15	3

高知小学校

	1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		5 学年		6 学年		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
平成18年度	1	1	2	0	1	1	3	0	1	1	1	0	9	3
平成19年度	1	1	1	0	2	1	1	0	3	1	1	0	9	3
平成20年度	0	0	1	1	1	0	2	1	1	0	3	1	8	3
平成21年度	1	1	0	0	1	0	1	1	2	0	1	1	6	3
平成22年度	2	1	1	0	0	0	1	1	1	0	2	1	7	3
平成23年度	0	0	2	1	1	0	0	0	1	1	1	0	5	2
平成24年度	1	1	0	0	2	1	1	1	0	0	1	1	5	4

片無去小学校

	1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		5 学年		6 学年		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
平成18年度	2	1	4	0	2	1	1	0	1	1	2	0	12	3
平成19年度	1	1	2	0	5	1	2	0	1	1	1	0	12	3
平成20年度	3	1	1	0	2	1	5	0	2	1	1	0	14	3
平成21年度	1	1	3	0	1	1	2	0	5	1	2	0	14	3
平成22年度	1	1	1	0	3	1	1	0	2	1	5	0	13	3
平成23年度	2	1	1	0	1	1	3	0	1	1	2	0	10	3
平成24年度	0	0	2	1	1	0	1	1	3	0	1	1	8	3

厚岸中学校

	1 学年		2 学年		3 学年		計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
平成18年度	47	2	47	2	46	2	140	6
平成19年度	36	1	47	2	46	2	129	5
平成20年度	37	1	36	1	47	2	120	4
平成21年度	43	2	37	1	36	1	116	4
平成22年度	32	1	43	2	37	1	112	4
平成23年度	44	2	32	1	43	2	119	5
平成24年度	36	1	44	2	32	1	112	4

真龍中学校

	1 学年		2 学年		3 学年		計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
平成18年度	60	2	58	2	72	2	190	6
平成19年度	63	2	61	2	57	2	181	6
平成20年度	55	2	63	2	61	2	179	6
平成21年度	60	2	55	2	63	2	178	6
平成22年度	51	2	60	2	55	2	166	6
平成23年度	42	2	51	2	60	2	153	6
平成24年度	46	2	42	2	51	2	139	6

上尾幌中学校

	1 学年		2 学年		3 学年		計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
平成18年度	0	0	0	0	2	1	2	1
平成19年度	2	1	0	0	1	0	3	1
平成20年度	1	1	2	0	0	0	3	1
平成21年度	1	1	1	0	2	1	4	2
平成22年度	0	0	1	1	1	0	2	1
平成23年度	1	1	0	0	1	0	2	1
平成24年度	0	0	1	1	0	0	1	1

尾幌中学校

	1 学年		2 学年		3 学年		計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
平成18年度	3	1	4	0	6	1	13	2
平成19年度	2	1	3	0	4	1	9	2
平成20年度	3	1	2	0	3	1	8	2
平成21年度	0	0	3	1	2	0	5	1
平成22年度	2	1	0	0	3	0	5	1
平成23年度	4	1	2	0	0	0	6	1
平成24年度	2	1	4	0	2	1	8	2

太田中学校

	1 学年		2 学年		3 学年		計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
平成18年度	5	1	15	1	7	1	27	3
平成19年度	8	1	5	1	15	1	28	3
平成20年度	4	1	8	1	5	1	17	3
平成21年度	7	1	4	1	8	1	19	3
平成22年度	5	1	7	1	4	1	16	3
平成23年度	8	1	5	1	7	1	20	3
平成24年度	3	1	8	1	5	1	16	3

高知中学校

	1 学年		2 学年		3 学年		計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
平成18年度	2	1	1	0	2	1	5	2
平成19年度	2	1	2	0	1	1	5	2
平成20年度	1	1	2	0	2	1	5	2
平成21年度	3	1	1	0	2	1	6	2
平成22年度	1	1	3	0	1	1	5	2
平成23年度	2	1	1	0	3	1	6	2
平成24年度	1	1	2	0	1	1	4	2

片無去中学校

	1 学年		2 学年		3 学年		計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
平成18年度	2	1	1	0	1	1	4	2
平成19年度	2	1	2	0	1	1	5	2
平成20年度	1	1	2	0	2	1	5	2
平成21年度	1	1	1	0	2	1	4	2
平成22年度	2	1	1	0	1	1	4	2
平成23年度	5	1	2	0	1	1	8	2
平成24年度	2	1	5	0	2	1	9	2

教職員定数配置基準

1 普通学級の校長，教頭，一般教員の配置数

学級数	1		2	3		4	5	6		9	12	15	18	24
	併置	単置		併置37人以下 単置15人以下	併置38人以上 単置16人以上			100人 以下	101人 以上					
小学校	2		3	4	5	6	7	8	9	12	15	19	22	29
中学校	3	4	6	9		9	10	11		16	21	25	30	39

2 教頭等の配置基準

- (1) 教頭 3学級以上で配置
- (2) 養護 併置校の場合、児童生徒11人以上で配置
(単置校の場合、3学級で児童生徒11人以上若しくは4学級以上で配置)
- (3) 事務 併置校の場合、児童生徒15人以上で配置
(単置校の場合、3学級で児童生徒15人以上若しくは4学級以上で配置)

③ 耐震化優先度調査の評価方法

耐震化優先度調査総括表に基づき、以下に示す評価フローに従って、優先度の補正（Aは優先度を下げる補正、Cは優先度を上げる補正）を行い当該建物の耐震診断又は耐力度調査の優先度ランク Rp を判断する。

なお、軽量プレキャストコンクリート造屋根を有する屋内運動場については、優先度ランク Rp を①とする。

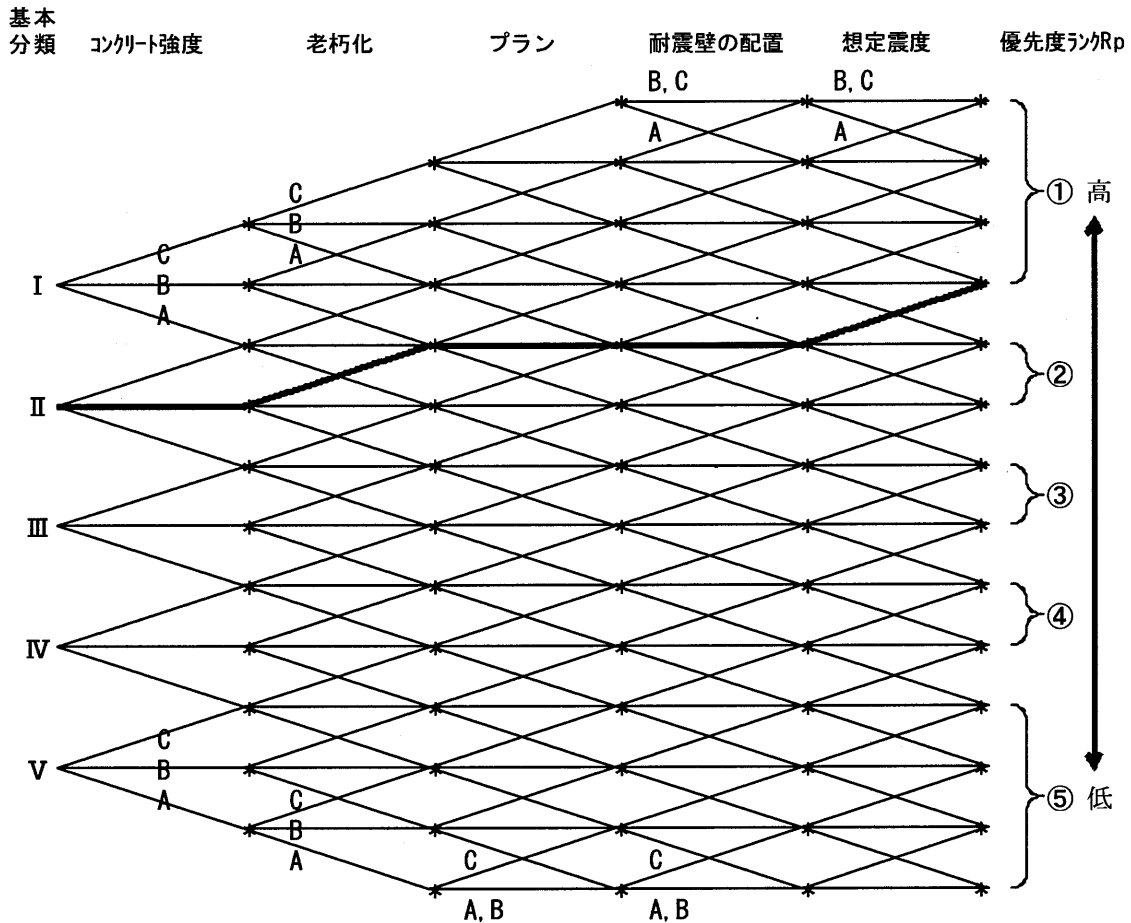


図2.3.1 補正項目による優先度の評価フロー

注1： 上記図中の太線は、基本分類Ⅱの建物で、補正項目の分類がそれぞれコンクリート強度 B、老朽化 C、プラン B、耐震壁の配置 B、想定震度 C の場合の優先度補正を例示しており、耐震診断又は耐力度調査の優先度は①（最優先）となる。

注2： 調査対象階が複数にわたる場合、各階ごとに優先度を調査するが、最終結果はその内の優先度が高いランクを採用する。

② 耐震化優先度調査のまとめ

耐震化優先度調査の結果を下の総括表に取りまとめる。

(表 2.3.15) 耐震化優先度調査総括表

分 類	評 価 項 目	評価ランク
鉄骨軸組筋かい耐震性能	$I_{sb} = (\quad)$	A B C
鉄 骨 腐 食 度	F = ()	A B C
座 屈 状 況	N = ()	A B C
溶 接 状 況	M = ()	A B C
構 造 安 全 性	()	A C
落下物等に係る安全性	()	A C
想 定 震 度	()	A B C

③ 耐震化優先度調査の評価方法

耐震化優先度調査総括表に基づき、下式により優先度指標 (P) を算出し、当該建物の耐震診断又は耐力度調査の優先度ランク Sp を判断する。

なお、屋根梁が支持部材に固定されていないもの（ローラー支承など）で落下防止措置がとられていない建物、及び、桁行方向の鉄骨部分が非剛接架構のみで壁や軸組筋かいが無い建物については、優先度ランク Sp を①とする。

さらに、上記①耐震化優先度調査の実施方法の f) 落下物等に係る安全性が C ランクの場合は、優先度ランクにかかわらず当該箇所について詳細な調査を実施し、適切な対策を早急に講じる必要がある。

$\text{優先度指標 } P = (\text{Bランクの数}) + 5 \times (\text{Cランクの数})$
--

(表 2.3.16) 鉄骨造屋内運動場の優先度評価表

優先度指標 P の値	優先度ランク Sp
21 ~ 35	① 高
16 ~ 20	②
11 ~ 15	③
6 ~ 10	④
0 ~ 5	⑤ 低

厚岸町学校施設の状況

学 校 名	校 舎				屋内運動場			
	建設年度	構造	規模	改修年度	建設年度	構造	規模	改修年度
厚岸小学校	45・60・61	RC・S	5,141	61	61	RC・S	1,251	
真龍小学校	34～H4	RC・S・W	3,537	60・62・H4・H6	40	S	812	50
上尾幌小中学校	53・H9	RC	2,084	62	54	S	447	
尾幌小中学校	46・48・49	RC	2,337	H4	52	S	786	
太田小学校	H5	RC	1,443		H3	RC・S	638	
床潭小学校	H10	RC	1,644		H8	RC・S	665	
糸魚沢小学校	54	S	988		55	S	573	
厚静小学校	45	RC	1,287		46	S	398	
高知小中学校	H6	RC	1,625		H4	RC・S	627	
片無去小中学校	46・48	S	940		H1	S	584	
厚岸中学校	50	RC	5,077	H9・H10	51	S	1,496	
真龍中学校	43・47・48・63	RC	4,064	63・H1・H2・H7	43	RC・S	769	59
太田中学校	56	RC	1,584		57	S	783	

RC：鉄筋コンクリート造
S：鉄骨造
W：木造